



塾通信 ひまわり 23号 2024 7月



いつも塾通信をお読みいただきありがとうございます。

7月に入り、暑い日が続きますね。水筒を忘れずに塾に持ってきてください。そして、授業前に必ず水分は補充して勉強を始めてください。そして、もうすぐ夏休みです。1学期が終わる日に、通知表をもらいますね。漢字で痛心簿（つうしんぼ）？にならないようにしましょう。



今年の夏も猛暑の日が続くと思います。涼しい部屋でゆっくり読書を楽しんでもらいたいと思います。



1) 6月・7月の活動報告

(1) 6月27日(木)都立墨田川高校訪問

渡邊校長とお話をしました。KATOH 塾の生徒が現在通っています。そのため大学受験について、探求型の勉強や一般受験などの取り組みについていろいろお話をしました。渡邊校長は、秋頃時間があったら、当塾に行ってみ学したいと言っていました。ただ、水泳部の顧問をしているので、とても忙しいと言っていました。校長先生が、部活の先生をやるのは、珍しいですね。

数年前に、前校長の柴田校長が KATOH 塾に来てくれました。

実は、私立の先生方も当塾に来てくれます。

いろいろな先生方が突然来ますので、児童・生徒の皆さん、しっかり挨拶してくださいね。



(2) 7月3日(水)トルコの学生が塾を訪問

現在埼玉大学（国立）に文部科学省の奨学金で交換留学生として1年間日本に留学しているメレッキさんが塾に来てくれました。

トルコの国の様子などのお話をしてくれました。トルコは世界で一番難民を受け入れている国です。1年間で、350万人の難民を受け入れています。どうして、こんなに難民がトルコに来るのでしょうか？

トルコと国境があるシリアが内戦でいつ殺されるかわからない状態のようです。そのため、陸続きのトルコに逃げてくるのです。

もちろん、手ぶらで逃げてきます。そして、難民に食料援助やいろいろな物資などの支援をするトルコ政府は財政難に陥ってしまいます。自国のトルコ人の援助が疎かになってしまい。トルコの国では、この難民問題が論争になっているそうです。

日本は、今年の難民認定がなんと303人です。トルコと大きな違いです。

また、難民がたくさん海を渡ってくることもありません。海に囲まれた日本は、ほんとに恵まれていますね。こんな平和で安全な国に生まれた私は幸せ者です。爆弾が落ちてくる心配はなく安心して寝ることができます。また、朝起きても爆弾が落ちてくる心配はぜんぜんしていません。難民が来て、ご飯食べさせてくださいとも言われません。

トルコのメレッキさんとお話をして、暑い・暑

いと文句を言っていた私は恥ずかしくなり、穴があったら入りたくなりました。文句を言ったことに猛反省します。

彼女は8月にトルコに帰国します。今大学3年生です。1年間トルコで最後の大学生活を送り、卒業後は、日本に就職したいそうです。日本語教師になりたいそうです。

ぜひ、再来日して日本で就職ができるといいですね。日本で就職が決まったら、また塾に来てもらう予定です。英語はもちろんペラペラです。



(3)7月12日(土)場所:本八幡 みらい進学フェアに主催者として参加

毎回予約制を取っています。これは、消防法により、会場の入場者数の上限があるためです。予約が取れなかった保護者の方にはたいへん申し訳ございませんでした。

毎回、予約枠はすぐ埋まってしまう状況です。関心の高さが伺えます。当塾の保護者は、大丈夫です。予約が取れなくても、入場できますので、ご安心ください。

説明を聞いた学校で、興味が出てきましたら、次はホームページで確認してくださいね。

そして、今度は直接訪問して学校の雰囲気を感じてください。

直観を大切にしてください。直観は当たります。



(4) 都立産業技術高等専門学校訪問

吉澤校長、柴崎副校長にインタビューしました。その様子は、9月に動画にしてホームページにアップ致します。ぜひ、見て下さい。

2)いよいよ夏休み！

保護者の皆さんは、夏休みはどこか旅行に行かれるでしょうか？

コロナの規制がなくなり、今年は国内旅行が増えそうですね。

今年は、海外旅行に行こうと思ったのですが、円安の影響で旅行料金が高くて行けなくなりました。国内は、どこも混んでそうで疲れそうな感じ。地方の学校見学でも、行こうかなと考えています。

3)①8月8日(木)銀行見学

今年で3年目になります。昨年の支店長、副支店長、事務長さんは皆さん移動になりました。新しい支店長、副支店長のお話を聞けると思います。

なかなか銀行の金庫や融資業務・送金業務などを職員さんから直接聞くことはないと思います。ぜひ中3・小6の児童・生徒さんは、参加してみてください。



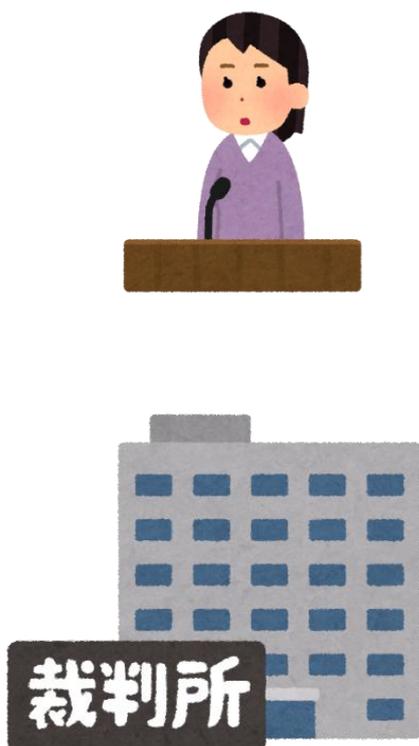
②8月28日(水)裁判所見学

今年で8年目を迎える裁判所傍聴見学です。最初の頃は、傍聴席はガラガラでした。昨年から、夏休みは学生で混み始めました。裁判所の宣伝の効果が出ています。裁判員制度が導入され、一般の国民も裁判員として、裁判官と一緒に人を裁く立場に立ちます。児童・生徒・保護者の皆さんも裁判員として、重罪事件を裁く立場に立つかもしれません。ぜひ、この機会に裁判制度について家族で勉強してみてください。

当塾の裁判傍聴見学には、直接弁護士さんが案内してくれます。その弁護士さんは、中学3年生の娘さんがいるお母さんです。皆さんに会うのを楽しんでいます。(小6・中3のみ参加できます)

また、今回は他の塾生の方も参加します。小6・中3の皆さんは受験で面接があります。集団面接では、知らない生徒と討論することになります。その練習として、今回知らない生徒と裁判制度などについて話し合ってみてください。

いい練習になると思います。



<今月のいいお話>

こんな会話ができる大人になりたいです。児童・生徒が大人になったら、レストランのレジでこんな会話ができる親切な暖かい人になってくれたらなあ～と願っています。



お客：「お忙しいところ細かくてすみません」
店員：「ゆっくりでいいですよ」
お客：「財布が軽くなりました」
店員：「お釣が不足しがちなので助かります」
お客：「ごちそうさまでした」
店員：「いってらっしゃいませ」

